いで起ち、総飜の数革、駅、若宮、武富の諸氏相次、「中国の諸氏相次」 心は栄養院にあった・同院職が関かれぬので政策の中

協計を加へ、午後一時より 提げて政府に迫り新戦策に

職工・産業貿易等の問題を 加へんとする社大黨の蘇生

本會議も開かれ革新議會は高潮

切仮ける確信あ 露關係の危機 能来の通信機關は非常に質問で に任協めて必要である。しからに で協めて必要である。しからに という。

を といっ大電板を掲げてやつてある。 近に二大電板を掲げてやつてある。 近に二大電板を掲げてやつてる と非常に対して (2000年) とすらことは貢献さば和 (2000年) (2000 堤氏の質問に廣田首相答

堀民職じて閩田首相に向ひ | 馬場城相 第二次監明・第二次 次監明・南日・福昌 において建る に 教が保証されたとの市場に制施 教が保証されたため市場に制施 したのであららう 特に保明が返 したのであららったわけばないと思っ

堤氏 離相の抱く貿易政策につ

不成立孫第に比較して約九百萬圓 來の記録的意大康算額を示してゐ

> 回賣合は八日午前十一時上り院內 職家に關し政民開放目閥部の第二

すこと、なほ上窓については今世 出し紫緑蛇としての意思表示をな

【東京電話】毘育等艦馬路一新決一を交渉し全統一要を以てこれを提

回會合

濟土木工事

近氏 三相が外交を支配するが

提氏 海軍において今後國防戦

一要歲出は京釜新線、港灣修築

寺內陸相 要《協助》 格にて協議の戦闘地御見撃 [門司官話] 柳二週間に直 門司御安着

若宮貞夫氏 政府は外交に関して韓民の信念を固めしめまた議會に反映せしめる如何なる所信を有けるか

◇堀光丁代田生命常務

一嵐緑少佐(普通寺藤兵隊は

の課

蕸

萬

案

寨 集

事で、「欄のお代覧が確まりませいと用波に、あなたも、眼をさ

間をひそめる程になつてゐるので で、良人に建って、「ども に乳さへやつてゐればいゝのだ』 「その子氏さへ、もらば、大きく なつてゐすす。父の行順を見て、何を

の行ひではありませんか"あんな、「艶じいのは、あなたといふ人間といった。 なんたいい 人間 粉の女達を もう自要のふ

注

へてい そして、良 台切 ② 送先 型で必干挿入の事・第原應用も可型で必干挿入の事・第原服用も可能も強く変現したるもの最も強く変現したるもの。 最も強く変現したるもの 昭和拾寄年五月卅一日 氏名を明祀の事

て此の割合を保つ事 維、横位置原意 御案は黒一色とし一五寸三分×一尺一以上にし 新聞版告用の顕案なる事

- 根藻関梁の裏面に本版省を見たる新開名、住所創作にる事場では、まま変くなし、但し来変表

〇 審 東京市京橋龍銀座五ノ一 株式會社日米南店宣傳部 熚 蒜

쫣 慶麦

一、應案作品の版機は富祉に癒するものとす ・ 極業作品は返却せず ・ 極業作品は返却せず ・ 極業作品は返却せず

拾拾百 名名名名

花治

(116)

'FUUI

到 國 全

ので、それで獲損へてゐるのでせ

が居なくなった

と明んで、人々は交、他の上を「そこを、親鸞といふ配所のお坊さー一痛いつ」

「さうです、さうに強ひありませかん。――今、私のところへ既に来かれた。――今、私のところへ既に来がたる。」という、既に来行行きました。山吹は、湖へ行つと、

然し、婀娜太の影は見あたら

ルで行つたさらです。――何といれて独はれて、泣くく、町を歩

「何、親鸞が、連れて行つたとり

出吹のことでなく、お役目で忙し「それごらんなさい、それでもい

植原悅二郎氏良

としている

墨むと來た、これ、愿は更衣ぢする成素を提出せられんことを

けずに、良人の胸 やつと打つと、

支

店

店

ŋ

+

車

轉 自 名

有

0 處 る

やるんでする

金賞 住三ニー

作等等等 竟正頂正 京城。古北。礼 幔。大连 京 京。 梁 齊 店。 梁 齊 店。 梁 齊 店

比がつてみた手肌の表記によつ

川花町一丁目京にトラック連

築城仮置を行ふ

出資政が総是取職べると、男が関一工兵第廿大隊では京仁総合平向曹

場に於て十一日より廿一日を問地

評議員を十四名に増す

三日 | い理解と認識を持つ人々を実の如

議員になって費ひ、いろ人へと山京城島工教授外二名の方に評 たが、今年から新に十名を増設 人々も圧命し總督所の孫間後隔額が議員には民間間の有力者の

叫び船場附近に抱合つた男女の心

八日午後等時学頃、京城談門脈浦一合つて結ばれてゐた

川の運轉手と女

死體麻浦に漂着

六名の和服しと、そのましば前を置つためで騒

局射他と觀測

島から獻納

十萬圓で注文を發す

完成の上は盛んな献納式

中死難が誤者したのを巡回中の前

工兵隊演習

風で赤ジャケッと花屋様のチマを 野子安七石(デ)と物明した、女は

九日は憲兵郎立記念日に置るので「朝鮮紫箭原敷衛部職政政会を総来」九日成二人に成大に、「る目的で總督府の路向寮崎である

九日盛大に

原則に於て副令部、本部、京龍台「緊訴或は冠海・實業派で実術に流」(従来も高額女子節顧察校長、年明十一時期鮮級兵隊司令部38389、の四名から「蹶十四名に卑哉、第一八十四名の後継衛員長は離る

感美術の向上陣を布いた。右に既 展策に既いてこれ等の人をから費 く八日任命し、総督府では鮮展議 極的意見、希望を求め文字通り半

軍参談長より薩承省片樹圏広航金鑑証士英國に選したので八日佐茂

獣納式を懸行する智・一般の上この朝鮮愛園部の様大なる

の作型解入方を依頼した、近く完

野城岛射砲二門

為甘硬膜測率一輛

た愛園の血ほどばしる零細献金が 朝鮮軍室関系では全鮮から増まっ

が行はれるが、本社では左の如く十日交通祭を擧來る五月十日より十六日迄京畿道で交通安全週間

教授)▲藤田売衆(城大教授) ・城大教授)▲安倍能成(城大 ・城大教授)▲田中警修 ・野庭昭(城大教授)▲田中警修

猪

米は値上げ

京城公設市場で五厘

層意義を深からしめることとなった

、水年動績優良交通從業者

(京城西談會頭) ▲松原總] (京城西談會頭) ▲林茂樹(渤嶽理門) ▲林茂樹(渤嶽理門) ▲林茂樹(渤嶽理門)

るが各等の小質値段は左の通り田能に依る原料を買等の異めであ 原因は内地からの警察機遇と移出

五里、普通一等米11112 装五里、一等白米一キロ111 大里の大一キロ111

日一湾に各等五川宛順上げした、京映公武市場の白米小豊・駿に入

▲澎洲均民政部主催訪日藏祭顧成 友善氏山五十三名 十四日午後

交通巡查表彰式

交通慰霊祭

青期▲交通事業の従業者や ▲午前十時より本社様と

傳行進 鑑字 題

が可片の密度をやつてみるの 班西小川町三四支那人群場際(

五日明京城通過高原へ
五日明京城通過高原へ
五日明京城通過高原へ

八時な回牒談(大)石橋同野(東) 選任事業人 ・ (東) 選任票金七時三〇 ・ (東) 選任票金七時三〇 ・ 全八時記五分基礎委託の。 ・ 本八時記五分基礎委託の。 ・ 本八時記五分基礎委託の。 ・ 本八時記五分本の。 ・ 本八時記の書話の。 ・ 本八時五〇分小明(京)

大成權製藥所

릠

1

日本勸業證券或會社

國品源上不可 家に一種など御茶備

一瞬絕滅!

一午前十一時關縣國民族司令耶思典

だ月元に戦らないが飲食店の女

憲兵記念

度から鮮態の内容の元質強化を計から公開されるが過費所では本年

職役した、取嗣べの結果右三人は魔北浦道郡城面景域き非礼像("4)の変重武烈("4)と長男浩魚(*)三 |名を連れた朝畔||気が傾切らうとしてゐるのを釈弥殿が趣が、急停時したが及ばて無叛にも三人地||後山電話||七日年後三郎井分参山總大田行廿一列聯が陸呼、三浪戦間逝行の際。即方の縦跨に対見

行する

武出町町で元率を出すので配産出 けれ」とて豊富に製行を動くので 同説族に製井線は長を訪問はは引きあげたが、将校側は人道僧 『軍人だから警察官の取扱ひは受 になり、各委婦は恵に午後は引きあげたが、将校側は人道僧 『軍人だから警察官の取扱ひは受 になり、各委婦は恵に午後

平壌府議の花見の席に一嵐を起して

醉つた將校さん達の珍客

ごして三浪津に行く途中であつた

山子三人慘死

尿釜線で無残な話

鐵道線路を通るな

兄城一の折紙つい

近紀をつけられた赤ちゃんか三人、この京城自樹の最は良見は水融清武、出山文忠さん、松脈(牛ばの見花変)語題句で、変」如の記した第六回像真乳や観音器に入實した像度起表で、甲の上の一 京子さんで特別賞(愛地質長質)を受けたが、お批さんほどんなに鼻が高いことであらう

お母ちやんの胸にニュート抱かれて

まあなんと可愛いこと

九日封切・成社

沈に月下に花見をしてゐるどでら 七日を京城京町旭川総師で一升版一郡年れ町科六郡早瀬田治戦(ぶ)で 何ぞはからん大泥棒

夜の堤防に花見の粹客

れ馬 南大門通りで

連続とした

(土) 午後七時半

病

ラミュート ひも願いて意城でも深江道十一語 つしぐらにかけ出した、往来はげ 去る一月京菱競子意識的近の小学 八日午前十時云城新草町馬即晚書 かえて興興まじりに東大門一丁目 泉が前役束の群ひがまださめぬと 人も浮かれれば馬もがさわぐデ しくなった派でもあり通行人は右

朝日既報 格五丁自富信トラック商幣助手群 がヤット押へた トラック・歌を召んだ男、京城 の職(ご)は黄金町一九二半時行氏 らトラック修然を伝報されたの トラツク飲む

の兄ちゃんを龍山と見が誰何する う? 今選の話題は此の二名作でせ 一合業の萎華版 トリアバーシー番楽数 で結構中の踊りと

を顕主せて取調べると同山震音田(中、各地の空家と元したり橋つ振)あばれだし、荷郷をひいたまゝまの細葉なせょ」ときらかした、際(つけて、歴に京張へ歩いて来る途(辿りを馬耶を挽き通行中突然馬が 「俺は天下の夏米がで、~王賞」毛布その他を挙み、通行人に関り」だちゃんを龍山を設が誰何する。校にある諸人小舎から音騰達服、

地岡崎氏方の留守宅での他を荒し 機道中を取調べ中 てゐた、難山潛では引取き後の泥。往左往、馬は二三人をけつて前あ 投身の女房

「淳良さん」 蹇吳氏(Ch.) と判明した いい ス自殺した女の身所は遺留品 と日午後七時頃京城護江橋から飛

IJ

即で世間、歴典に望得したことの

八日本町高段に破響された

州民館の

層塵期士 中

村萬里

電話本局(2)二三

森永の

今しも附く

ルナヨシナ

奇紀としてこれを処氏に五自解

美味桃屋の状の部

(P) 時計店 ノガネ 時計と

京城府長谷川町一一二(朝鮮*テ

開催される第十一回隣にオリンビ 理事質を明き引続き所六時から 東京電話

一大日本優許協管では

一方針を承載決定した、選手師

資左 間湾質量物調度が伸出すると書び 日午後四時半井の内中央学にま 展復館を開催、今夏ベルリンに

埋事會の最後決定

歌一七本ロット三本魔球一二 府委曹譲行を出議的を明き風宛を に引きっとき京場府政部で記された原調五本ルスリング五本原稿 (2013年) 八日平朝十一時より めたが今八日も中が上時から前日五本ボッケー 四本領域へ本版 (2013年) 八日平朝十一時より めたが今八日も中が上時から前日五本ボッケー 四本領域へ本版 (2013年) 八日平朝十一時より めたが今八日も中が上時から前日五本ボッケー 四本領域へ (2013年) 2013年 (2013年) (201

四郎が秋風融離に郷奇の驟雁山 | れ即元した身元洞竜中日午前八時十五分昭孝天錦並山 | タキから振り落され南足を切断さ

役員合配「西二十名を眼接とする」

秋風韻で墜落

から派権した朝鮮人男が三等事デ

府総曹雄宗で継載館を聞き屋気を に引きつよき京城府氏館で加支 留楽りである 府會の委員ら

【平顕 是語】公式の所辞職機會席 聯隊長を訪問

三州人會が

師院将校廟の事件に脚する対策に入って來て府尹を職打した七

を組織し、九日(土)年後角力の

務類、字、金松/、丸山首願以上

大は弱す一時から所質解析で開発 点域:所人質にては、網洋は短点へは弱すって無所質解析で開発 直接 一般など 人質にては、網洋は短点へは影響を開発しません。

り弦時の模様を詳細製品協能の結。温しをなす、多数の質質の人場 全般天氣豫報

職権長に軍事の原向を問はせる事と、刑事、刑事、本、共和、金、内田、

高 右肩

見扇に大坂地方 「一を晩」 晴れた



効力强無害 **液 虫 液 水 水 水** 雌、蚊、蚤、 加 南京虫その他害虫 きさん

生といれている。 またまでは、 またまでは、 ないでは、 ないでは 切けない 三十五七ン

内科小兒科 レントゲン科紫外線 Ш H 電本二八八〇番

MI

態金 京城鴨治町 1572:4037:3939

曲夜田

7ELO3

等型 古城憲治 古城憲治

To the same of the

新原木地県施 曲前ででは 見 平松 子信見伏 的成大狗的高 曲來的 村大

像. 梅. 春. 春. 春. 春. 春. ***** 雷洗

の産所ンタンアメ AMUAR AMUA

胃のためにあるお草ですののいる子供は胃がつよう ● 電話本局三二七四番

セウ

脳神経科 北島等院 院

ť

ヤメテ 非常時の母』

府民官大講堂 海老名彈正夫人 (土)午後一時半 (

と記り、C音というのつことで、 方日及十時頃三和公園で折柄 一日の野風鉄(で)と ・・ 下野・ 大頭里一三~ 静足(で)

化園を荒す

興ざめの不所存者

遂に南浦署にご用

に亘り自動卓を駆び運動手に暴行し馬山」器特別年数十名が二日間

平開器は街の雄踏に営丸

り稲葉山下停留所に向ふ途中、を企者順(ご)が連縛し船橋里

・後五時半ごろ所憶パス

村の與太者數十名

ス運轉手に暴行

無賃乘車を拒まれた腹艦せ

日能に置いた書の温革砲が放失し 町就走店主人金兵器さんは去る二 、物質な頻響もある― 花に浮かれる街に

皿塗る輪禍類り

六日の午後から夕刻にかけ

しかもその舞臺は火葬場

死の變宴を開いて 除ろに首を吊る

羅爾坎凯墨の際こで五日午後四時 地下足袋を深ってゐたが、附近に、家都れば既にして比釋ふつまりで、 居色の初瀬町代勢鄭実次さんは | 着け、賦色のレーンコートを着出。首を終つた上に自分の死額をも出 らうと屋内に入ると低さ六尺位の国お客さん」を迎へて仕事にかり 記なんとこんな死に方もある。| ・プの結構上者にコール天気智を | けになつてゐた動などから死人は | と傾明し次は豚根へ進撃は **獵奇小說にみるグロ自殺**

照子掛け版本に革像をかけ越死し

こるものあるのを観見、驚いて

はカルモチン州紀人の国とウサス

羅爾物に邱げ出でた、死人は馬サーのらしく、なは手が頑黒に捉だら | い案底で愛悟の戦世自教であつた 即この世の名集りに一杯やつたも、んで家族は怨女一人ある丈の楽し牛肉鹼酢などの名があり。死の画、地居住上野特賞によりにいふ大工さ キー小瓶、スイートピール一本、一甘木河原町、當時邑内築吉町十番 あつたらしい死人は極陽縣朝倉郡 首を織つた上に自分の死間をも出

月職天がよいと人からすいめられ、四職まで 底辺溝として各地を流流しく火田耕作をして 來たが昨年十 取止めた、 間女は「七歳の時から十

ものである

の山火事

里主吉成(G)といび郷里で襲と仲、み贈急手書を加へた結果、生命は一末を慰び巣笛の戦世自戦を命てた年の名は平開衛川郡徳川面南出東。周難が襲起、附近の傷院に讀さ込一億かなく行方不明の變見や身の行

係践がその事情を質して見ると常。金玉器でいが医験を感下密閉中を一種生見があるが昨年米から全く音

せうかと概ながらに弱へるので、花点的始発美こと朝鮮原城府生れ「郷里には靏井に蚕けた七線になる」(諸語)い方はをられない、【奉天】六日午前六時命内西郷迎」その場句書別に真を沈めたもので

【奉天】六日午前六時市内西塔迎 | その場句苦界に身を沈めたもので

市街地建築細則に

奉天で自殺を圖る

の二人の子供を疏

相談所を訪れて 青年が平、著人事

苦界に嘆きの母 流浪のわが身はかなみ

郡下岐川面或衆里の長車江水電線 受け間もなく終命した 在義(こ)は身殿全所に重打機働を 三銭トンネル巡察作業中、間トン 楽中の人夫、江殿道立に即生れ韓 で不能緩化ダイナマイト機能し就 ネル下口六百一六メートルの箇所 不發のマイ

平壌に四件も續出 少女殺し 一年振りで 痴漢を逮捕

を火田とする目的で無許可欠入れ中に突易に燃え膨がり國有秘二、七ヘクタールを開発したもので孤郡上里を素解方の雇人で立百里解院國の登了奏承歌『こが金素解門中の山城を言唱し娘談きの米歌唱郡上の

前連邦とともにこの傾向は流々派 日の行はれたものも相當にあり部 即を希望するものも多く、既に取 この際比較的安國に占い家屋の寮田離党的勲は俺に七個にといまり

災民

てす

肝油

hi

【蔵異】四月三十日永典郡繼徳面立石里蔵中協國有杯に無勤火入れに基因する山穴事があつた、澎面

人は燒死、區長は大火傷

日郷在に於ける韓政器の家歌重集ものが相當多数による歌謡で、五

國的濟

上者は

何?

則に適合する家屋翅類の資力なき は去る州日道令をもつて公布實施

されたが、現在のバラックから細

失火した男は逃亡

り犠牲者

あつた野食金元禄氏も大火傷で生命能無の歴事を凝起したので火元の要産級は治定所依不明のため経路は僅か四個足らずの外観であるが、これが得火に出動した派交の健康圏は規矩し消跡膨損癖の彼に

力破探中である、脳炎金元淳氏には近く威爾知事から丧影状徴皇の言

概念取割べ中であるが引れたといるのであるが引

[編章] 羅斯夏斯斯司令官共上中

北鮮を視察

屋がを踏構した

井上司令官

り歴史 [編集] 郷

一名押し流さる

春宵北漢江の惨事

面らずも昨年五月三十日午後四一たので平南殿川郡内南里で鑑夫と「が平綱は置いから子供の資ひ手は 活が出来で困ってあると附近の人

画室所定の長女駆式・10に整行。「総の長男と生費力ケ月の二男を經」で六日愛見を継れ来源したといよ。あたことが範囲画室所は自川債附近で高級趣画して「戦からち本年三官不等にも八一液山あるだらうといつでくれたの を弥散し自宅へ持ち除って隠して 死に至らしめ目下手配中の超級として突然表が嵌つたので男子一つのであつた。問題でも同情し子供 では子供達が足手まとひになり生の世話してくれる人を探してある

三名と同家で飲んで替りに石の相

7共産院事件の整帯第一国公開は「大郎」 鹽泉都職一番外三名に鷹 體泉共產黨

長係り側面検筆立言の下に組定さ

刊となった四名はこれを不服

てあるので整彩電に配け出で、際「江風帰道等別の北側に即指書で贈「江南人大な配置と海別組成」とは「然では同夜所みに来たお客を調べ」近の電し敷が熊服を贈らつて配置。最高に押し高されて行方不明、なたところ当内利前の目観紙候線集(金乗で配けつけた加売車間が組め、使は「周は複な部して整彩中である)ところ当内利前の目観紙候線集(金乗で配けつけた加売車間が組の機(は「周は複な部して整彩車である) 【加平】五日午後七後半ころ京徽。までは無異牧助されたが、開東組 悩みの羅書昌民 家は建てたし金はなしで れることとなった

大巡道で(協和)事「無山橋」

被告線一層外九名は昭邦七年大 甲山部交換画東番里交流線」」

大楽主義社管を實理しようとし

大級主義社管を實理しようとし

大級主義社管を選出の人大家から人大

第一個、近代教授会が、第一番にては自最

「で飲んでしまったことが辿り

名は執行教育となったが、右體

素山帯で収縮へ中 で「花台しませ」と一般行人に呼 瞬く間に花は盛れ行き町頭は潮州 高級年出は整御週間の構要も関す 較第二船船を撤廃した、水上署で ○三九トン)に接触、前職丸は右 の髪花と胸間の遺化とに肌響の一 しく年前七時半年から各町の辻々 乳幼児愛融週間の五日長町小學校 の際第一機器を離れようとして類 旅館はどこも確認で継手占添ひを 初中等學校の修學旅行開體が昨年 學童が花費り [元当] 当川〇トン)が威峰へ向け出航 室山1 六日午後九時年鑑山際山 賈家が殖える一方 満九と接觸 た め 【蔵典】総別部傾所 た て に、こと・・・ 日本原理 大変の性的により開地大変を一般 大変の性のにより開地大変を一般 大変の性のにより開地大変を一般 大変の性のにより開地大変を一般 大異動を左の通り観表した(括弧 た解野ありなほ緻嵐取闘中 歪託された金二十四を機能逃走し 「半山」豊南書祭部では七日午後 庭南醫官吳助

> 肝油はV、A、D 加工せない眼鏡

で多く含んだ良

質の脂肪です

麗弱な人々の

きつと見違へ お用ひ下さい 榮養補給に

なります る樣な健康に

家 庭 所 油

語談肝油球

融鐵不良による眼鍵 酸類せむし、夜間虚 時間質師結長、助題

會商郎太干藤伊島島 町修道匠大 舖本

徒に関しては散門に属する目を申 たものであり、馬山製設川主任は つたが、今度の終行事性も、我々 げたので、馬山圏からも急行主線 はこの旨を順ちに織田歌在所に告 散々に銀行を加へたが、連携手が 同地有窓を呼び出し、交通防害の 際と無法な製水をしおれられなか に対しては以後無機飛服をさせる を駅打車器を資はせば関するを見 間中であるが、南く國に依れば、 ると、停留所に待ち揃へてゐた壁 北秦町二九六路山脈(き)とい 空間の楽しさの簾り原町金蛇・ 後家さん棄兄二筋道

長さ三尺重き一貫

の観音で松井外科では珍客として個脳の環境に等めてある | 歴の中央まで重れ下り着頭を着てあるとれ、十ヶ月の蛭船|| げ鯱を持つて嘘り三日常銀塚と賣工菓子」といふ観さんで伸動から開発局がよくれ出し太|| 旅ぎ石で繊維原(**)の結婚減を帰せて表す。 右は電景機生れ はまる二日併川都中西面範囲主金 臓中 一尺三寸、東さは双方共一貫能りといふ化けもので諸説で「十名が略語下順をはじめ中部部版とはとか見えて、ご本人は趣に習解なと説しないという。単称「金したところこれを食べた器板四とした」 【奉天】 恩界に参しい肥大乳房患者が原洲賢大規能に入院 【午事】安州郡東面盟西里日大宣 ふるので意味生趣では目下師を証 | 善行情等を見違するため全鮮各地 博士もビックリ 春の農村にギヤング事件

い乳房

四名死床に悶ゆ

結婚式のお土産で四十名罹病

安州郡下の悲慘事

を記しその中国名は能量に陥って

修學旅行で

「開城」高温明時代の近隣南月、

女に親知らぬ薬兒と拾つて変削に嬰兒を襲でだにれまれ丁 ので、四月二十二日丁女の門 色してふるらしい深級を愛感 ため大が子供放しさに選を関 西京のチャーター船九州郵船南井 新羅丸損傷

子の欲しい家に拾はせて

同自安田アケコ(三)―眼名― が子供がないため離か知らぬ

すまし顔の浮世喜劇一場

郷所、試験個を認識の上、午前で

分田観、加約川地畔に参拝、訓

平北州事を隨へ來定、而もに原則 五十七分者の列派にて出題の上 「宝州」中山港近は六二十後九時

宇垣總督

定州を観察

時十四分酸の列車にて参獅馬に向

豚箱に逆戻り

性懲りなし

日内実吉町八大工邦正蔵では町性の悪い大工(監開)

を重ね機能、去る三万六日男

り開業の門前に製見を選集しを明き徐は敦ひの神様とばか 推賞して我子と子るといよ野

海州語では毎見の度面

中間く前記の如き芝居が にこんなからくりが

要見の機量に耐燃中、海州西 となりこれまた懐戦・去る四 山川(元)一般名一を空間の船 しさから昨年同里泉という仲 ◆……また四内履婚里身がか

(田子で無機の勝貫)と氏語(田子) 無許可出版

不均な男捕る



アレマア

警戒すべきです

んな症狀は

りのためです、お人形の顔の凹凸

れや極色の原因はみなこのほこ

によく挟を掘ると、

はカラリと問れた日を遅んで、

くお掃除をしておかねばなりませ

まづ

五月節句の人形や編を片づける世

早期の症狀

カタルとか、脈結核とかの診断を一するのであるから、此の直理を

せると、羆く勿れ!半噸、日本流で百戒拾買除、この大女が、先程、用渡らしい女の赤ちゃ んを重んだ。それで なくとも賦月の 擦なお腹してるのに 本當に臨月の際は如何だらう?ナ

えげつない事法。可からず、現に角この赤ちやんこの親にして、この子あり、約一世

執子合せて百廿貫 南親合計百成指質・世界一の大女として有名なアメ

結核豫防の秘訣

(終)

り、横面そのものくためよりも、一般も必要なことであります

一百匁と云ふれをとした像良見肚子共健全婦さパポ

して、これはまことに組なことで べきものをも、却つて重くして行 その樹神的哲戯のために、なほる

あります、外し結蹊ので法は徹松 く不幸な例が、話だ多いのでありま

胸が痛んだりする。変態が少く時に病が凝ったり

でありますが、 之帯は他の病気 寒牡丹

の揖導下に新鮮な空滅や日光の中 でなく自然派法がたくいへば勝動

受けるのが安全であるのは

にもあつて獨り脂結核のみに限る一 でないからなるべく早く選師の

連作パンジン関下の位

であります、然のには開発には解発、態せしむるので、相當の月日を襲し方法で前でられた子供は恰も鵬節しどが、標準から非常にかけ離れてつてなほのことは前に述べた通り。めて、自然の力によつて頻繁を治・暖があるものですが、減つた緩緩、たりすることがあります。健康な過ぎ緩緩の大黒分は早期の感染によ。を含地酸にして身體の湿疣力を易、の所で純単した異合、相當な塩症 わたり或は肺があまりに懸過ぎ減緩の大黒分は早期の臓節、がないやうにグニヤー(し)悪ぜら

に大〇六號、デフテリアに治気配 清と云ふ様な所謂特效療がある器

103

マユメキノ

告報果結の査審先幼

| 大章 「今後の選続」を御勤等にな (即ら至く申分のない方) | 大章 「今後の選続」を加勤等にな (即ら至く申分のない方) | 親で比均敷がとれて居られた方。 | とのと既と云ふやらなもの しく配過せれこと) 薬診臓臓は圧 落選とを脈形致しましたので、決 の平均的準以上に達し (但し語だ 子様を式の各項に分類して入選と置正、島長、頭頭、胸助が日本人

者との區別 人選者と落選

入態の方

されるには及びません。否早く思、厳格な乳効児変質質にでも通過し 将来は優良別の資格を得るやうに一居られるが建良よりは數等強良な一 も落思されたやうなお子さまでも一般優良の組に比して護分割っては り何的なでされば今年お取り形に なることは明らかで、決して悲観。方。以上三組は、全國の如何なる ていただきたいのでありますっこ い點を見つけられたことを窓割し

ハタライタ カライショウハヨク

ダシテヤルゾイイモノヲ

のやうに脱煙な観査を行ふために、この組は普通の観音状態にあるか 「関ひ合せの手紙」をお「蛇は吹しくそれに然る方が入つて一意せねほなりません (C) 住民の祖 得る方です

春の京城實業野球リーグ 首位打者に誰 か。

▲用紙 ハガキ、選手名一人と所屬を書く事 **●宛名** 京城且最赴迎勤部題 一等(二人)優秀電氣時計 計(資金製、大理石)副賞本社最メダル一等(一人)最高級美術置時 副賞茶証録メダル アンチモ

▲締切 青十三百

ルセイユ活から三等船客になっ、 レッド・シイで一と形かいて、日 それから悪獣の海邊を走つて、マ し、アレコルトレド展示を見よう、 遊び、ゴヤのマヤた人にも遠位う インに入りマドリッドとトレドに 讀声標 (銀町銀道官舎二一號の一九號)▲セツター産差 算だネ……」 る時、お館に組ひ、 『続いては、お願さん、師奉公を して居た島居標へは何日原命る心

それとなく聞くとお飲が

・ 「原白」▲三日派動育雷日記録店 ・ (席上)にあつた葛成種田三記を さ ・ (席上)にあった葛成種田三記を さ ・ (席上)にあった (席上)にあった

本の器に高いた時みんなで使よく 京城に勝るのは六月の終か七月、 識んでもちへるかしこと気じ作ら てそり配る野はありません、胚面 態は好い方ですけれど、嬰雛が常

から

んで見ませらと

とりちがへて捻撃したりしたもの。ない、領于を一つ買つた癖人がる。のやうに色を囊つてゐる、彼女たっ造行がない。私はよく日本で人を。ヤッポを怠つた女に出逢つた事が。』の奇ひがする、彼女たちは薬物家。

リは世界の流行の中心でパリには一を選はずに流行を超えてゆく、パ

これ今年の流行と――と云つてゐ

要する、そこで紹子には彼女と一緒に呼

だつてそれか、普別が幅に生えつ ある、クレニアンクトルの好々端 はぎだらけの場のするな版を看て する。いて、裏面に解ひ倒れてる

ものが不思議だっても合ってる

れ五月にはマテスの近岸側庭が開 一つは今日ピカソの展覧館が催さ びたのは円里を去り鑑かつたから

一九三六、四、五

のものとして工夫され、継形され、が働いて、一層の粒子は其の婦人

けではいけない、次々に織い神理。BB信配のお話さんだつて、鑑ぎ

関つてある、ラジオー・、次に私 **ゐる、ジョセッイン、ベエカアが** たと思つた時は鉛雲の跡が離片中

一葉定上り少しばかり延

た傷の線に、脚に、陰に、それだ

|外型の玉だつた、パリ人は電音||がはないものを平氣で着けて-

選法はすげえや、今年の冬は野一だ、他の人の音響や帽子とす分ち

る、衛子を顕に率せて思る、光づしちは自由にしか表しくないものに のには似合かとしたに自かる上だ。して、そこに己れの白を削り出す のには似合かとしたに自かる上だ。して、そこに己れの白を削り出す のには似合かとした。自かる上だ。して、そこに己れの白を削り出す

もう少しは面目い給が描きたかつ

しまった。とつづけて云つた

そうに散らばつて白い紀を讃して

大に、人形の肥や全色の部分(にくいからです。しかし金でかの(がつき切いから頭の程に関う…) て気に淡年の手芸芸では長島首とはパラ毛の策で購つて下さい 人形の泥の名に附近すると、これ 第四 は紀分抄と毛やんに置る。すっこれに今以の述べによっ 選んで保存することが大事です **一日取役** に選縛のないところを 世長の人で、本年は融優度になっ に安慰っく人。る事 第五 又にナフタリンで谷の箱して選ばれるやらになる方たちで

た方もあります」なほ本年人選の あります。(昭和七、八、九年に **応修良・侵良及び住良の組は來年**

第二一 にお人形の難には湯を が全色の番母へ可能に大くぞれていからです。 の母ひは豊陰けの数はあるのですいからです たいが大司です。新聞紙のインタ

サイ部に親ではいと翻のいだが、みっと物色できることがあります。第二、にお人形の醜には細を「が全色の多分へ自然に起くすれて

はなるべく手を関れぬこと、こ

部分に直接新聞紙を営てるはよく

ソカのガアトルウド・カアンス夫人は下後女の設置の夫君、クリフ・カブンス氏の重量を合 組と流場者へは各人形に映點を記 前年突は前を年度よりはその数が 事を創態の数します(幸ひ本年は く、病所に得され続いものですが 殴うございました。)なほ佳良の のですから時々病院にお出になっ 概な側子様は「一 る御子様も入つて磨ります。この 何此の中には、頭蓋房」を持つてる 耐見にあたられるならば今後少く ります。しかしこの祖に入つた方 はの方交は今弱在民病を持つて居 をよく御記題ひます。 の細意質に膨する資格のあること 適當な加尿によって治療し得るも ともC組には達し得ると信じます られる方(交は體質異常書)であ 落選の方 も相當注意して科學的な方法で 以上の條件に合 般に伝統力が弱

らこれによってよく個光願います

ついて観覚して置かれる必要があっとと信じて居ります。これに反し、實行して行けば損害な所までには て人選の方は、なほ一層科學的ななれると信じます。それ故に今後 失敗を有効に生かして行かれるこ 御熱心な情さまはまつと今回の御 詳細お書き下さつたやらな響見に 「願ひしましたが御谷はたも物らず せられるやうに布型数します 何兄法を時似せられ朱年度も原理 人選者を次の二 ゆきませんので専門の町や乳回 の出層こそ必要なことであります ません。それに関して今年不幸 年は落題の要目を見ないとも限ち が減面の革合上洋細に潜くと 意た方法で世紀に置たられくば歌 こ、どなたにも大切な事を得き 健康相談所などで注意を受けられ に同れた方でも科學的な育見法と の際にお歌の歌します。しかし **小選せられた方でも、今後不**

ありまして、日常監視のお子様に 以上は乳幼児の健康を測る尺度で 匿々組織するものでこざいます、 るる話にこうした感激促調状態を

| 體重を指つて本別野病見趣食情性(1) 特に乳児期に放ては、時を 表と比較して下さい。 して見ますと (2) 第二次第二

(明記(4)容照)

参照)長い間乳汁のみで整覆する ること(簡単一張おやんのために ます。これは殆んど總ての方が注 皮膚や筋肉の壁さと受りとがたり (1) 相當の時期を選んで購乳と

「エッ、なんだ夫婦約束まで 耐は大いにその成功を配し、 とは 大した スピードで あつたナ 関公なかく、野墓ではない、後 と、今ならは言ふでせらが、神

當てられ気味である。 こまで行けばモウ漆山、い言しか して祭ると営ひ居つた」 「そして、見捨てるに於いては死 匹認を可き手腕だい 「どうして島居標へ跳らなければ

即、別なき仲となつて、二世三世 盛しい逢子園の遺なるに辿れてまれを傳手にして島居標へ順ひ、 も思るまじと互ひに明す心の滅、 「ハ、、、、これは面白いぞ、そ一指。へて住むのだが、茶に礎つて居 て近きは男女の仲と、清学納言の一を課別いたしたいと願つて居るが と、大いに笑つたが、質に強く 然し心は随れ四九十郎とて、野 」如く、何時しか、お覧、九十 、深くなるばかり。 総へ繰りませるから、其折よく根が、何れお飾さんが近い内に島居

られとは不珠……」 と思はず単したが、ハッと心治

| るから茶座数を建てたいと云ふの の小者清兵職が、今度店を循頭さ 悪いのです……」 うかして吉良盛の御屋敷のお茶彩 だが何分派に入った大工がないど れをソックリ説似て自分の方でも たでお茶部の結構を押見して、そ 標に上つで居るとのことから、 『ナニ…置は……ら云ふ鶥だ、主人 が出來ない、幸ひお應さんが鳥居 厳しいお屋敷とてお出入するこ んに謎つて、下谷坂本へ隠居所を



の爲のレー トクレームマッサーデです

繋から額へ、口から郷でからコメカミ、眼の周囲 過無く塗つて、指先で額 汚れのとれたお顔一面に と下から上へすり上げる

めて潑剌と養押されて行 貴女の素肌の青春美は初 夜寝る前、同様にして、

一化粧料本舖。東京。平尾黃平商店

代の女性読を創る

的美容法の流行人



悟道軒圓玉

体操

が戦へてくれた適りに減らうとし より除りて來たのを見て與五地が 『イヤハヤ大戦りであつた。 貴公 | するのか……そして、伯父さんは 「岡野、どうした。盲尾は……」 神崎の響を聞いて九十出は二流 一次外な文句が出 お削と私との仲を知つて居るのか 『吉良嶽のお妾にでも上げよう わたしをどうやら・・・・ たけさせないやうにして、其の上、 無深くつて、既形様の御用は成る

それでどうした、女は健心で詠つ ゑ機に脳み態に順じろと申した。 一八、、、、それは當然、それゆ るので、どうも原備で作が狂って た アハア、遊脱はわるかったけれど 「ラーム、壁い野彩だナ」 此の間、チョイと話をしま

見附けるとは感心だと言って要め 所能んで、自身でこれと思ふ犬を 「さぞ叱られるかと思ったに、大

一大いに排消の度窓を駆動致した

創る新鮮な血液が全身に湿ります。 運動をします。美くしさと若さを 身體一杯に吸ひ込んで、軽い全身 朝起きて十分間、キレイな奈気を

美容涉

次に正しい洗顔です。

お湯はぬるい位にし、

人した注意書を封入致しましたか 將來は夫婦になると云本製約を締一『フーム、不都合な伯文もある· が、決して悪なことはなく。必ず ましたワー

有ります。

額も小皺を防ぐ効果が れを軽く額を消す様に これからは冷水での洗 して洗顔します。

用ひ、脂類とほこり汚 制戦の少いよい石鹸を

12

但しいづれの場合でも タオルでゴシゴシこす

る事は絶對禁物です。

容上一番大切な美肌、整容 様にして敷門マッサーデ

るもの)

一、課題題

(廣告及宣傳として價値あ昭和十一年六月二十日迄

第一部 朝鮮總督府事資局製品 やカラキウ 第二部 嶋屋 藤波 アルコウギウ カナン ドール株式 倉社製品 アサニ・サッポロビール株式 倉社製品 アサニ・サッポロビール 株式 倉社製品 アサニ・サッポロビール 株式 倉社製品 アサニ・オッカン・河道歌声に 1000 (同) スタウト、河道歌声な (同)

・審査員 追って競変

当與 100 ▲一席(各的一名計四名)螺蛳加工美術高

同十七日

E Ħ

永樂門一丁目界強高で与より午後四年をとり午後の一下明が

十日

學第

W--高部

島第

屋部

サブボロビール會社第 提影會時まで概思境公園で

キリンピール 倉町部

撮影會 時まで類思慮公園で 時まで類思慮公園で

審査發表 六月三十日

製品の撮影日(十日、十七日、二十四日、三十一日)にはモデル提供

開始回縁回撃四一時 開放町場屋側造工塔 開放可機器壓近一車

源十時より午後五

工場撮影日

七月上旬京城三越にて開催の

0 ボール経が間を掘べ、変突主

家族會議事通子と

薩峠大河內傳天郎「下 古川旅波と徳山璉【下右】 中歌る爾次喜多

牛乳屋 [下三 大菩 **処女地マドレース・ル**

寫眞に自自

おにぎやか 大作、名作一せいに封切らる 銀幕界 15

いりである、まづ日本映画の方を にない帳やかな名作、大作の出陣 | 蘗峠』と前後して(三十日既は三 | 脊第の豆塊のスクリーンは、近頃。 西篇「衝熱の詩人啄木」が「大響」んじん』「西船テナシチー」「モ 京城の封切陣展望

も設定されてをり少し後れて五月

使して、東初商事の「笹土の道」

子、志賀所思、発野形子、高田浩一駒に封切られる「秋小獺次亮多」 吉等が出演してある、それから、 に、 高杉早声、 。 分何岳、及川道。 れてゐるよじしでは十五日から若 古川 ロツ パー と徳山は 十七日)封切られる、文鑑映器と「デュザイヴイエだ、それから「モーロードウエイ」が封切られる、と ンパルナスの夜』のジュリアン・ 中切にはメトロの秘細品「頭るブ

いほど帯がれてみる地一の一般化一た路域である。子和につまいては一部代のヤスコットは、ほら是に一緒じられない穏に 除、松竹では以上、作に先だって のコンピ、若い人たちを有重天に 花館)これは紹介するには及ばな一彩コンピ、舞獣で大畠りをとつ て」をデュヴィヴィエの「白き させずにはおくまい、監督は大塚 「雷之水酸化像華版」(次週)つ 「お腹消十世」(六月年一週、浪 いて小龍安二郎の「大學よいと」現行となるかも知れない られる。これは若脳の新レコード 乳店』と共に撥美週間として封切。何とスター遠にはあまりにふさは 一十日からエンタッとアチヤコの 「あきれた連中」が「ロイドの牛」中網代のお財布から出されたのは まさか、是によって彼女が勝地す しくない他士 と、大船のナムバー・ワンー

優女地』と兆に二十日から封切る。てみると――何といつても期待さ 「組代はこの骸子をもつて、蛇山」して、あたしの部屋に飾つて置い。 所の連中の一人が さて洋調の 方を見渡しる調でもあるまい、と思ふと

の大きい「作である、それから異」の名作を煕麟化してゐるのは「に」んて、あまりに袈裟すぎて、「寸」とこうから見ると、どうやらその「て、手文領を明ける飜にもなりは つたのである

全朝鮮寫眞聯

商業美術寫眞懸賞募集

A second second

一、日本明提出に開始する注意。人、日本明提出に開始する注意。人、日本明提出に開始する。日本の書籍を用数の表面には多加章を語者し、本語版が5交付してるの各自の書籍を否定には、個別十一年度の新書號を用がることを言葉は「世界の大きさはカー生度の大きでは、日本明度のは、日本明度は、日本ののでは、日本ののでは、日本明度は、日本ののでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本ののでは、日本のでは、日本のは、日本ののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本のは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本ののでは、日本のはののでは、日本ののはのは、日本のののはののでは、日本ののののはのはのはのは、日本

京城では左記により商業美術高真の撮影會を開催しますから多數倒参加願ひます

義治グラノフスキー へでひド氏の は「ロイドの生乳屋」で、これは 原封切以來部制がよい、これと前 ある、更生ロイドの保作として東 二十日から若郷に封切と決定して トランクーの作者)がメガホンを 文句なしに 心野心作である。それから 得たれるの

スコーの一夜」が十五日から封切にかく主なものだけでも以上の脳

だつて 縁起が 良いんですも スター・マスコット集

申 しかし、蘇野地子になると、如何 形で にも女性にふさはしいフランス人

にもよるつてるて、そのマスコッ

トが天保銭――七の一枚の天保銭

しかし、脳杉早苗になると、如何

心められてるるやうだ

の、だから意味なくマスコットと 「これ、死んだお友語のかたみな 市の中に入れてある を、後生大郎に何時を自分でお財

れにしてもマスコットが酸子だな」合はしくなく、しんかりしてゐる。「ちやす、ラッキー・キーだなん。れを自分のマスコットにしてしま。シャリアピンは底に「アン・キホ

マスコクトには、悲しい思ひ出が一ても、天郎鏡をマスコットにする一くそれに鋭いて たんて、時近突鳴を行く映画スターでもろ、この思猫は、何處にも資 する思維に思はれてなってないわます!

それで、誰だつたか物質さな振躍していものを持つてゐるのが、 物ることだが その中でも、一番マスコットにふ À 現れてゐて、一寸面目いと思ふらは、如何にも復女らしい面目が シャリアビン

投じて、水型の配価を買って、そ一葉映画に主演することになった。 と、實に配数に、デバートの応見の法間丸で米國鉄由銅響の途につせつと料理者は数の統を描くもの 新興キネマの山路でみ子で 再度米明した監察上フョードル・

たいものを、マスコットにしただが、自分のマスッコトが金十五一機関係優としても立識にその豊敬 を見せてゐるが米解映画に主流す 1テ』他数篇の数譜映鑑に主演し

全朝鮮寫眞聯盟

中山延見子

よみもの数十篇堂々四〇頁の豪華グラヒ本錦特輯の七大座談會を初め興味本位の

あー すぐ御覧下さい……。

ックの盛装!

!賣發日本・

置なグラヒックの超満員! さいなく見、かつ讀める は、いよく、充實した讀物と美 は、いよく、充實した讀物と美

どなたにも興味深

らない、勿論。それが軍人ならば「と、建院織を搬つてゐる、此處い、新信息類後雖に一座を撃みて出版。 作の「風能浴川県」で監督は「丸 なった。主張映鑑は川口松大助版成りトーキーにデザユーするとに 中の中山延見子な今度日街と製物

くがその塗光屋林でス様で一本賞で特に山木體三郎、小林豊四郎の シャリアビン氏は十四日航海出航。落する熱等流川栗をあぐつて蝦蛄 職等者が燃援出資する 次郎が提當し機能に著手した。物語は大正初期の東京を背景に選出しまた。物 版と文字』で好職を見せた清澈英

バ社映畵主演

日活城田华人《特念三百哩 映畵檢閱日報 (六日)

> 演藝案の 器。字部

本語フ

ジョージ・バンタロフト アン・D・ロス・レダトマン管管品

をロット・フェール社の特に日本版 とロット・フシュネックを行 レオ・スレザータ ハンナ・ワー か

曲すい新曲五郎正宗 を整を競引興味百%の大衆映

上面特作オールトーキー

流動

三原は晴れて三原は晴れて

歳い上オールトーキー現代側に日活保険局提携の國策映 学校、大学会 一部であります。 一であります。 一であり。 一であります。 一でも。 一でも 夏川和江 毕真佐子丰词 林芙婆子原作 木林莊十二

ロ 馬物語 口哲中野かほる M

坂本武 突貫小僧 阪

3作用を持ている。 第一回を持ち、 第一回を持ち、 第一回を持ち、 第一回を持ち、 第一回を持ち、 1、1回を持ち、 1 回を持ち、 1 回をも 1 回

豆城劇場

和サリン・(TOVIA)) カザリン・(アペーン主演 RKOラデオ所辞作映論

版と耳の新聞 松竹科酸ニュース

疾風森の石松

管作明 省 管作明 省 管作明 省

金十二番

翻訳的記憶

大レビ笑の人生劇場大公演東京松竹座洋原派

五月六日より抗日まで近日間閉復 五月六日より抗日まで近日間閉復 はもら見切を過ぎました。 花園 間頭の大レジュー 勘完の人 生園場 一座は今が見回です。 地方初公演 東京が庁 既予別が日前の

で艶や生氣が失くなります(便秘すると皮膚がくろすん) 若さを保つ ト剤は無熱な ためには

内 科 電京 本城 三驛

ジラキサトール

錠



ては愛用歌の實驗の結果、常に實讀されて居ります。るビタミンを多量に含有して居ります。品質に読いて製造販賣する代表的煉乳で、近年科學界の問題たとを基礎として、景新式の影備と厳密なる監督の下とを基礎として、景新式の影備と厳密なる監督の下

乳兒の哺育に・兒童の保健に・姙産婦の 榮養に 明治製菓株式會社

工域内摄影の際は不判受付にて會員掌違示の事▲朔日襲更の際は京域日散紙上にて蔚茇す。 十日の撮影會場、奨忠壇事務所の上方及び博文寺下の實大庵後庭 九日(土) 井三日(土) 壯日(土) サクポロピール曾亞道にキリンピール曾駐の水管道

所究硏學化理

RKロラデオ和百萬神養華版



_

眞摯な質問相繼ぐ衆院本會

渝能の主力は登算總数に移つたものく、本館職においても順日に引戦の議館或治の使用自復。革新政策検討の直劉な のあとを うけむ大賞の蘇生久氏が無確性の信頼を一身に起めて「歌上の人となり、無確然不来能は、東京總について午後一時半上り本御職を加き、沿路の大家の所に入れていていて立った。 (日成) 既日、社職、 異比生态安定等の活問題で チャを財好の所信を用ひ、つけいて立った。 (日成) 現有道事法の都見と 資本主義是正、國防と職事との問題、外交政策、議會制度、選舉法改正等を演出首相を始

時三十四分開館國称大臣の施政・東京電話)衆談総本館離は午後 崎幸次郎氏食

昨日政民兩黨間に協議の結果

加を掘すことを指摘すると共に動しも奈爾一致可決両五十五分散輸の均衡を図ることへ、租赁収入増、理由を監明、採決の結果、四案と

【東京版話】 斯望蘇相が入日菜語 銀行法中以正法律案外四件の委員 仰重農輕方針で行

衆議院に提出

般語記域出の財源に當てるため

管王又 鱼

韓CO一般Oヨ - 『あに原要 仮文・京明 店商墨刊

はれてある

均衡を中心に

際のを▲明眸の美術やかな夕の動行

楚々として祭山

見る間に始人の た▲契如胸のボ は悉く此若い婚 た▲不思認な振

mり始めた。 本やつと吾に闘った 性の思い切つた饗 の若い婦人も彫画 に終す替さへもあ 人間値が示威運動 ★別沿へと連れ去時やつと駐寄って たんぱも果り場に居る信者達は勿論 の美しい全身を惜ルと床に落ちて一 だが響て難いて 人は習く原敬の 動く着さへ無か

木

を阻止し、血戸で 除きてその単元硬化 証常位に安定せし、 血戸

d

8752

移入米の管理や制限はいかぬ

水田拓相は答ふ

か望まり

矛盾するとは考へぬが充分社園 他の必要上からで、別に順単と 奨關係についてこれは技術その 奨開係についてこれは技術その

を許します。









肩打神頭 凝 経 り身痛痛

ザールの特長があります。 ロイマチス

郊分になるところにサロメ

にか痛みを忘れて態らかなれもせず、それで、いつの間

純白の清潔なクリームです な邪魔ものもいらず、カブ色がつかず、貼り葉のやう から、すこしもベトつかず

でできたいと考べる とを関入れ、相互の協 に安い日本品を輸出し で、日本品を輸出し

じやうに効きます。 て、その上振り込んでも同

もつて難局を打開したいと考へ國任首相 微力ながら只滅を

ふのみで非常上告は到する非常上告は

五·一玉碎件

手拭なりタオルなりで温め

二寸排出して、これを採み込むれます。サロメチールを一寸かれます。サロメチールを一寸か 風呂上りに擦り込みます と、効き目は一層素適です じに一分、三分、五分と薬が乾むやうに、丁度、マクサージと同 くまで、振り込めばよいのです

要する(麻牛氏への主張であるが、の主張であるが、

性必要と認めの

素晴らしいかき目だ……

はこれをなり、然に國民の分別である一個

+

風見草氏

した ・ 返場、かくて七 1ル汚総の大個 というなにずがロンド なにずがロンド・ボ 民(第二)营业 た退場を命ぜら について感覚す

茶店にあり 三円・液状一円。 五十種・一 円

東京・大阪 田 邊 商 店

動脈硬化:

危域なる壯年病の豫防み治療剤脳溢血、狭心症、慢性腎臟炎等 として賞用さる

Phimasa

こて各國々民間胞の中に徹底す 赤の組織機構は、この壁間を超 ついあるのである。國際文化事

乏しく貴族院としては何んとも手 可決して政族院に透附したが簡明

脱る和けられ

能産を見越しながら加了術を失ひ

政府としても

重つて延長せしめた脈物であつて一直のて延長せしめた脈物であって

本的版本を行ひ、又撃撃その他官ののに政府としては、和税制度の版

れに絡まる成、民府族の蚯引は相 案中設も重要なものであるが、こ

るが、法案そのものが、申途半端この法律の恩思を振るものは米をたいといる原引が働き出した、民の、それか、驚を削つたものであて来た上、生産闘者から含べば、からして观方共とも選任を帰くし 氏を先師として、消費者の立場か、る消費者側の關心が大分級和され、通すには通すにしてよ今迄の証券

な嫌ひがあるため論戦は自然明瞭。持つてある少数の地主だけで、そ、政策は第一葉だから原則からすれ

こねばならぬ實際」にあることを

世 統御法中収正法律案、現実能的数 は 一一郎ち来数自和資理法案、現実能的数 に

米穀関係二条 数結束し船と使日の如く論館に押 米が少くなつて居り昨年三月城代 れには副顧長や二つの委員長を

と本年三月銀在の在国高を比較し一つたやらな跳民和協の無符ちも多

結局三案通過せ

し寄せてゐた。この中にあつて歌

機の介基から、民政総は中島(電) してあるために米齊法の適用に依 し っ 」 だ続は、東西氏を配置として比重して見ると四百五十萬石の減少を来 分に果つてゐる

ところ

端午の節句に飲むも、また 湾番堆銀質藥として薬用に 汚番性銀質薬として薬用に がある。 され、わが國で菖蒲竜を がある。 がある。 でも、苦から

野に無償即ち撃草をとる行事 たのである、またこの日、

学でも薬威は根型を浴翔に 使用し、リウマチスに効ありと際へ、または形を壊がして害患。 直流の薬を肝場に弾すのも もとはは悪きを開いっている地方もあるが、わが風で もとはは悪きを動きに弾すのも もとははない。

まで輸出した時代があるが、 鞆し、香料設料として海外に 今はあまり用ひれ、香料とい

今までにアコリンといふ苦味 高所根の不揮駆生成分には

種々の武器の脅が行はれ

菖蒲

0

藥用

樂學博士

XI)

達 夫

前議會の對立殆んご解消

母言せられたるところを、そのま ものであるが、大體において從來 戦滅説は、國天下の融略を強めた

職的防頭における馬提数相の財

臧相の演説

が途を覚すべきであつて、漫然こ と機能とにおいて、時間打開のてゐる。結局「屢既は各自の費」

は國民の心を重からしめはしまい

外相の演説

類文化の船間に貢献せんとする目 か行はれたのであるが、その間に 外大戦 後遅か に文化の 國際国際 内共に全く見るべきものがなかつ 1 門日不自體の文化を國際間に にこの國際文化事業である。世 あることは何人も疑はざるとこ 東洋の平和を耀立し、世界人 子として生ひ着つわけです、スターリンの雪に微へば、この塩結局離の見やらわからず、ソゼエートロシアの子、共産主義の 量です、斯うして番號をつけてやつてゐるのですが、これでは の鶏鹿はモスコー國立大學の乳兒院における、乳兒保育の前

言したきは、近時國際通官網の っである。この時に方つて際に 自国とも通信説制、音論統制の国 **階弾化し、すべての印像事業力** 化事業の上に大なる疑問を誘起

は生能者と消費者の立場を相當者 ようとするものである、この法案観響で米級の自治管理を行はしめ ころは利益の相反してゐる双方の になつてゐる。それでも米級商人

性田外担の外交前説の末尾にあ

及せるは快心事である。何ぞいふ たり、國際文化事業帯の創設に言

5

落した處で人間が乗つてみないのだから大事な撞縦士を失い様な心配はない、とい 於ては従來の攻防兵法は一變する事になるだらうるのだから、之が採用され兵器として使用される時に一既に完成し實験の一歩を進めて軍用化せんとしてゐ

0

目的は今更説明するまでもなく内

は葡萄の上室に鑑然と現れて、電池の指示によつて鰕弾を投下して行く、それを容視照視は明日の周代には電気で掛けれる解行應が発申さまん字色の旅を加下。 受翻線舰は戦日の関代には電流で掛けれる飛行機が発申すまん空色の戦を進す上来には何等の成为もないと極へてゐるのぎみてもその成力が知わる、この悲なべき 斡

『日人智の漢をきはめた航空版による空中職が行はれたとしたならば、如何なる

明日の空の科學 て軍用化

果になるが想像に徐りある、所収無比にして取けるを知らない無人策國主科學の問

の考へ毛頭なしとするも、形式版 は如何のものであらう。政府の一 の再検討に結及するところなき 取酒その ものについ

だけ思んで今藤曹に提出したもの 既いて農相や政府の責任問題が惹 た二家を抱いて悲悩の訳を祀る、 既に完成やが

断ほ成り立つてゐるやうである。

交渉が 二案通過の内

を飲いた複雑なものとなったので、れを除く一般生産者は凶作のため、ぼこの委託領の委託長には自然の ないで政府提出の法案を通さらと一人で交渉しようとしてゐる、 質は消費者に頼じてある始末である。 か講じ 一米激励能は戯友質が大い来た現飲からして生産者とは云へ、武長には徳友質の東遮氏を離す強い に米を買って食い高が多くなってしのを充てるのが至常であるが姿 ので、何時までもやかましく話は「い」「瀬嶼の態度に相當の駅引を包」も行かす、

こんがいがつて様でゐる、

居り、このところ委員長間的はな 策に乗っては堪まらん」と云つて

頭の嵌大な腰脳の中に多数の言葉

富り物語

唇椒、大剤物の良縁物語。 食い縁、良い燐、度

発が充分でなかつた鳥めにある様 文画の人衆的攻撃は今他行中で・ があるから飛行機は光の姿勢に圧」と共に動かせる機にしてあつて何ポンプを醸かせる演ポンプには能し、ポイントを飛行機の能が動く の民族は最近まで潜かれた言

その後英國と米國カ無線装売に

治産等自由自在の操作は地上の損 かくして水平飛行、直線、旋回

て、二十米といよ高度は問題ない 度で自由に飛行し得るものならば 現在では各國はこれ以上の成職」が必要ださら このリレーは敷は最少限度上六位飛行をしろとか命ずる事になる。

科學版のポイントであると言 安定部の完全なる範疇こそ明日の には飛行機が如何なる場合に

ランスが世界に魅けてケープ。と別の飛行様にケーブルをつけてどだらうか。

結婚法を敗正し質胎を嚴重取締ることになりました。やがてま 無知無理解の徒が結婚の自由を性恋の自由とはき違へ、やたら

た女性愛復興のために、背兄院のやり方も見ることでせる に結婚し、やたらに難断し、やたらに致胎をやも風があるので この頃ロシアでは、能来の結婚法が降り間節であつた」めに、

はジャイル(演奏)の理論を連慮、界商業の関う利限を採用している。 として水平線、方向壁が整度され、た成功を収め置がたり被します。 として水平線、方向壁が整度され、た成功を収め置がたり被します。 を飛行を対する。 を飛行を方向が眺ら線になってある。 ・飛行を対する。 ・飛行を対する。 ・飛行を方向が眺ら線になってある。 ・飛行を方がである。 ・飛行を方がである。 を開びようである。 を開びます。 ・一には比地関係及び作外費品には、関の下層につてなる。 が開びます。 に変すく金融機器がある。 に変すく金融機器がある。 に変する。 を機能なってある。 を機能なってある。 を機能なってある。 を機能なってある。 を機能なってある。 を機能なっている。 を機能なった。 にでいてはての一環形をいます。 にでいてはるの一環がとれたは、 のである。 を機能ないます。 にのである。 を機能なから、 にのである。 を機能ないます。 にのである。 を機能ないます。 にのである。 を機能ないます。 にのである。 を機能ないます。 にのである。 を機能ないます。 にのである。 を機能ないます。 にのである。 を機能なる。 にのである。 を機能なる。 にのである。 を機能なる。 にのである。 を機能なる。 をしてのといる。 を機能なる。 を機能なる。 をしてのといる。 をしてのといる。 をしている。 をしている。 をはなる。 をしている。 をしている。 をはなる。 をなる。 を

行先――(といつ **糟葉書の新工夫**

質明に終らざらむことを希望して

おく。由来文化事業は宣言におい

火切なことを励れてはいけま

を書き、切手を脳面の適當な 面の空地に何か趣味的の短文

形気を拂ふにこと寄せて を健かにし間内の諸鼻を してゐる

樂玉を、宮中諸原殿の御里に葉を編み、五色の絲を下げた 晋端午の面句には、嘉浦の

屋根を高龍で養き、また宮人と高龍の御枕を献じ、御殿の仕また菖蒲の御枕

の整理になつてゐるが、南省本邦産の菖蒲は西洋の菖蒲

選する、その本藩領議衙に附

ij

を打っている。 は一方では、 は一では、 これで日本陸軍初めてに對する我が守備隊の長甲自動車による襲衆軍の不法越境、飛行 油馬 Q ← · 五十錢 • 大日本雄辯會講談社發行 一小說、名記事數十篇の大內容: ·肉彈戰 痛烈壯烈。 境の歴史的科學戦! 仏の頂白 大問題の讀物 興味と知識大評判讀物! 取の類型













い話座談會

金魚魚

錦織圏の諸関が目立つて減つでき一方從来朝鮮州人間に大きな勢力を

曹原献師の総祚に現れたと | もつてゐた継級物は近年やうやく

明太底角網

開豐郡の家畜

會巡學相初會議

冷害地に義捐

氏は六日非公式に入師、午後害時

[平南] 湖州國司法部大日馬河浦

活編を視察

馮滿洲國大臣

に地方法院を観察の後午後四時職

る四月末の那四家前数は左の通り、組合では近く新純真最初の組合高

「成異」覧に本社の斡旋により愛し

指を屈する城園

内を狙つて蠢動

密偵は飴屋に化けて侵入

緊張する江岸の警備陣営

「魔場」山野郡山野南の脚でによ、「曹野」海校はほど地送したは後

| 翻実な人組版が大流行し地球な一時代をそのまく異識してゐる、一一想されてゐる

衛撃】 筑村な地方は竹の始人達。初七割を出めてゐる繁勢さで人籍。管で事務開始は九月一日からとな。ブラシ工業の各論智質を推腐して

曾寧稅關からみた新傾向

投兵式を明き盟村振興に開する意 能に認案更生情報部務度過期委件から同地公理校に認行歴興打合會

年十月韓工、直ちに内部の標題数

水電移住民

・所以得望の自働式電話の交換

「成異」長津町四角面では

「飯奥」新型加では八日午即八時

鏡は山地帶着出朝民教の難に義指

を推除した純給三百六十五間十九 腦后的は處於人八百四個六十錢に

「縄支田四戸三十九國四十一銭 | 炭綿は

つるる質而を召取した戦災水盛器

年後一時から遊買式を行つた

局には今後質問の制度を開始にし

縮織物を押し

幅をきかすい

贅澤になつてきた農村婦人の流行

【編集】都能によりが川地となる

一般二十戸その他に関し四日

羅津榮町の 家屋立退

あつたが、今なほ調修を見るに主 非事が断と立道機属所有者との

教興郡の農 成行は重視されてある

曜日に同者順嗣の奢季祭典曲に殉一元の持味がある…… 戯唐林粉當局 | 慶原 | 整髪唇では來る十日の日 先を越されても単元には特殊な地 慶源署神嗣の祭 版土並の自職組工を総一生、洗涤の木野や批片け、黄樹材の「とするもが常り成異所総能所あたる。……成階級が質易、体種とした経路・老人勢山敦、竣「地方の際成器術化することを目標でも地元には微鏡が坦「大系論」※正以に依頼して自繍を「また決定しないが将来は地報意版」(くの確保中である、具盤配方法は「はしこい京城時人には「共に本修道(総証級がで半端木野の「べく神儀中である、具盤配方法は「はしこい京城時人には「共に本修道(総証級がで半端木野の「べく神儀中である、具盤配方法は「

近く講習會を開

泉城商人を向ふに廻はし 獨特の郷土味を盛る企て

[経車] 國防婦人會経緯分聲では

羅津の準催

驅逐隊歡迎

所は同じく七十二四、蜘は一

のズアイ蟹の機能の如きは米國向

〇四四 北上三、二

半 壊に 侍望人 しき

働式交換が實現

日滿電話の完成に引續さ

今夏から工事着手

全鮮特產品

市は五月七日から九日まで三日間 が成北垣では採出これに参加し成 四の見本市調侃の際は滑載相木氏。 原路も良好で然に先般東京で第二 人が府立質品館で開催されてゐる 「昭南」全館特隆品の第三回見本 羅嵬鼬では來る十日午前十時から [范南] 朝鲜蝉夜媚投第四時夜間

六端院長の訓示の後、晒陽司令部 兵器の見撃その他が行はれるはず 削野尻大佐の講演あり、午後は新

と敗訂された、同所までの得込。

慶源西湖學校

【副異】本年から増設される成階 大な即校式を整行した。初代校長 日本都守はか多数の來資を四へ窓配公立哲道學校と後りかへ去る五 に伴って今回公立となり登録も果欲り出して来たが一面一枝の踏徹

よれば本年側所質上げの羊毛側が、管質を置く間違で本府に対し足域。語じ反から顧陵鳳訓導が遂出(蔵典)千生聖越所からの通祭に、道工處典警院の史神経院科技には「は李有處書段長豪茹で次躍に、「

校は述い歴史を有し数多の子弟を 【愛識】部内新町面の私立西は豊

【清津】乳幼兒夏殿週間のうち乳一 配置直置は五世年後一時から公

記録と同夜八時 記録と同夜八時

で、宴を扱った と、宴を扱った と時から料多新 を時から料多新

お母さんが

自慢の赤ちゃ 清津の審査會で

色々な敷語や製が有りますから一部どの側が自分の所に楽してゐるか。…お迷いのことと思ひます。どうで側に楽してゐるか。…お迷いのことと思ひます。どうで側が重く着方の見太順をお飲めしてさい。お平宮

コシケ・婦人病には一

美神丸

▲且賀田町長将総總氏長男と歌友君(*)▲常器町大山総男を歌友君(*)▲常器町大山総男を歌友君(*)▲常器町大山総 北青の優良見

仲がよくなる名薬子實に惠まれ夫婦

五山上午から白質臓器で乳幼兒診 【北青】乳功足変趣週間四日目の 日名のうちから

んもあればお騒音さんの顔を見て たとばかり表が自若とした民職さ

P日本の人口の中にはいつてる くり巡したやうな騒ぎ、これで

コッケ子宮院に供験が斜約作用、用で依頼せられた方が特別あり、コッケ子宮院に供験が斜約作用、用で依頼せられた方が特別あり、まず自宅で寒酷に依頼したい響なとしてもがなる方が大気の世一が人に響眼上でさい。

秘密で安全な療法

簡常で対見所 企画を別き原安 のでは、 のでは、

は然三酸師と田平助政権が行だく、領が兄変、戦闘国を興管は近日左の連り四名の人質優良、戦では五日中町公路 国際三岐神と田平助産州が汗だく名の赤ちゃんを一番ヶ崎、中井、 結局出手よりも十五名がい百十七

も輿論尊重

優要/で制上新期組類(御 三一) 大無気が用効を注 画面 好を効乎用効を注 五八 計画を辞あめは無 十十十です早丸り物原 はなりでは、く

本館宮、内、籍、進、堂、大阪市東岡南久賈寺町場筋

本館へ駐文あれ
本館へ駐文あれ

副業の王座

軍手の製造自宅で出來る

日清製粉の進出に對する

各上部と確認、無難の後軸膜を仿「後一時からイカナゴ紙期間通过構育に来る、道臓で作内知道はじめ」(鏡篦湯)間工資語がでは六日午 【類節湯】四丁醇語所では六日午 られ朝倉前野もすつかり別らかと一つてわる、申込は 南浦の

れ維南市はを原料して午後四時四、嬰の周囲につき確認の温暖質を明 の南中地田も盆標底下、促進された。 と 日景長からそれへ(傳道した と 日景長からそれへ(傳道した と 日景長からそれ、原田第一百村正 一四 の氏に對する食品は三百世界 四 の氏に對する食品は三百世界 四 の氏に對する食品は三百世界 四 の氏に対する食品は三百世界 四 の氏の るであらう

戦略の国際別典で配任の途につい、位丁基を歌迎する。ことに申合せひ七月前地路・午後六時十五分前、四時を招く譲あるにつき『日前嬰ひ七月前

をし情極的に行動すべしとの議論

分集と選択へ向づた、間夜は北いたが日が関め問題に購してはさ

日上城、十四日日上城、十四日上城、日出城、一川県

憲兵隊長、永田同 觀 **被會**

八日サイベリア丸で騒津着、「帰津」教質町電機一行ご

敦賀町議羅洋へ

大術 1 ます。今度原手を世上としては自一の一大に 2 大阪市 1 ます。今度原手を要は 2 大阪市 2 大阪市 1 大阪市 1 大阪市 2 大阪市 2

先づ皮膚の 大福吉さ 「身体の健康は 健康から 唐即代 展から) が 10 大田振商店 工選号 軽は 杉田振商店 温藤 本 曲 店 一大黒南海空社 一大黒南海 一大黒南 一大黒南 一大黒南海 一大黒南 一大黒南南 一大黒南 一大黒南 一大黒南南 一大黒南南 一大黒南 一大黒南 一大黒南南 一大黒南南 一大黒南 一大黒南 一大黒南南 一大黒南南 一大黒南 一大黒南 一大黒南南 一大黒南南 一大黒南 一大黒南南 一大黒南 一大黒南 一大黒南 一大黒南 一大黒南南 一大黒南 一大黒南 一大黒南南 一大黒南南 一大黒南 一大田 作品品にあり 内健 体 康 増 進

昨年同期に以べて宛んと三別近い

じある、このうち人辨誠物は「し大遊出を目職である戦略である

数対を恐むる成園水産質局では石

世の田島は全部不許可とする山田県原山を七月末と設定し、原川

||三郎三子九百六十||側に地し、||今の兆著しくなる見込みで大郎、||百姓に近してゐるか今秋の世の近れ為八千四百九方ヤール、金一市から絹巾への新しい高點配向は、で気経済司を受けてゐるもの秋四間る群ませてする。

統帥が続ったが人制権制の数(りで上英三千六百十二輌)との総(西渡河縄半部町の鹿獅ぎれる編成にはいっても去る四月泥まで(六十七回が今年は村三側五分の滅(可車両端七三枚と投跡)と、田ぶ底田はます(一輪んとなり飛に)ち四月までの移入側二萬八千二百(「魔輿」一昨年の饗師で昨年は昨日はます(一輪)

睛の記念祭 壯烈な模擬戦や 数々の餘興を計畫

紀九時四十分から正平まで各種の (掲げるなど襲撃始まつて以來の大 第二十回記念派は来る十五山線 から第二雲線公童祭で奉献大法雲歌第二十回記念派は来る十五山線 から第二雲線公童祭で奉献大法雲 「羅席」山側氏第二十五線隊の前「資産寺で課例式があり、午後三時

皆断又は皆斷の節置に上つて行は 昭多収起 既作に 処断 追を 触る外に

際十三道構典地に常由の十五名・城陸臺鋤し相互連絡を保つて江京が近地に萬順の百名▲長田(大方)「曹重一二)三四十三名の

能成の影響を関す

置買を厳禁

鶴浦へ野遊

密輸群は躍る

春のおぼろ夜鴨江を挟んで

商人その他に疑惑させて江岸及び の訓練を終った朝鮮人俗似を始け 使出の機を瀕ひついあり共産主義 と大小十階體一千六百四十三名の

【食事】北非鑑道では來っ十七日

ら野遊列車を仕立てることになり

が本年度から水利組合地域内の水 【魔異】財團法人朝鮮加重即以醫

ることになったので、咸南産業質局 れる生産に場合質にも助政金を服

投があり、正年から三十分間、 開城の催し

乾燥した日には

咸南道内卅八ヶ所に乾濕計

当年から四時まで相撲その他の除 | 時から剛徳寺属場で瀬神僧を執行

六區を新設

はさうといふのであるが、開闢は で職者のこの住日を日ねる子服

盛は豊山、龍耳、安水、瓦浦、黄・設備し山火季節の十一月から翌年山長市県身がかり壁される。 非尊 十八ヶ所にアウダスト型院選託を | 第二本年度に威密螺山郡にも

元中の開校記念

【會豐】 商工書では九日午後四時 窓日を迎へた元山中継校では午前

正月までは日午前十時温度機関を 印じ山穴の観響を開すべく結構中 新世代中・競大官 「京山」 安行の 悪理 四〇を江下の日及 び兵 であるが本半宮は緩灰噪毒連合物・井原の健康を奉ぎ六日温度で前行の 悪理 四〇を江下の日及 び兵 であるが本半宮は緩灰噪毒連合物・井原の健康を奉ぎ六日温度で前行

日二十四ヶ所に赤色三角の雲敷邨。のため一部分にしか変唱されない ご場項し、森城映画展歌迎、雲絵・樹緑である

根絶を期する計畫

會巡問工會總會

して特殊にを舞踏に暗聴する影響。安集器で一片六、七十段、規則七

しただけで一戸につき五十銭の和 八十銭で買入れ、朝鮮側に指令人

字に上るであらう、これ等道権は「のため、私共のため部所に働い

世帯兵分隊に駆逐して来たのでとの書献に、金一圓を封入してある兵隊さんに差上げて下さい

宛ら百鬼夜行の

福津】米金廿六・七、八の三日

制委員會では去る四日午

《羅律墨在動遊建築技

石葉かをる港都に

壁球陣成る

球場開きの大會プロも整ひ

新人揃って猛練習

見事な上限を発遣中だが、一

担たる公職グラウンドの活役間も、大日本省機整國の大精神。及び、 を結成する十日は明日に迫り、食一中肝療験部長は「世界平和の遺標」現役氏として歴典に落せるるため「では理論問題となつたので正く適 千名を海州に出集、直線合青年歴ー財し前局長の講演があり、引取さ 、筋臓の背手制代表及び側頭的しからは武器器できれ事青年側頭に 「清州」既報、思北道内一千二十一が臨場することに決定・賦夜七時 で日下人選院師中で五く住命をみ、呼ばてべく研究中である第二十脚勝強的関邦技術院中部中、各の宿舎を選定し戦闘会話、名を の精節に比較されてみるが、陸川、溶質音の誤解方を展現する情が多 際氏令により公立中學校として初 年度から配路将校配置なくば短期にも不便であり妹に明年新製期主

では日石以下盛代にか開係

順を送げたが装押には天順 加尹、上野师事官の高氏 作所西岡地方部長も交へ協

幣血界格に耐して日午後所

行気・組山山伊地の内

計画を耐止をあげ

展げられること、なつたが原月は「蔵」と郷し經線をあるよ器総つて清州祭前の鑑賞が恵よ織り「『人生の趣本、天地を貫く一つの 敷地の擴張で を仰ぐ 蔵」と明し無線をよると皆

中學校では防門通常住を除く外行

假寄宿舍を選定

工作名の生徒は密閉舎なさため

相手の死亡で

相續人を訴ふ

最高りの縁放に一時語者き通学し

く 再進税罪を注入、思想謝鑑の折(大されるに至り、能って度がも目)五十名以前の神道度近で鑑文増築度少年は勿論即頭に働いが働為に「直絡を含み終)点は干五百声に鑑し客館の建築は破る急がれてゐるが既育志に呼びかけ角直。劉を報へ、迦郷思落御舎前の二十二日昨、外(せてゐるが現角の不便があるので既育志に呼びかけ角直。劉を報く「迦郷思落御舎前の二十二日昨、外(せてゐるが現角の不便があるので が、動地は狡倉三千四百年、連ば場、調査の結果決定を見る割である。地が常てられることになってあた。更の提案があり、近く按師の實地 六千百二十四、佐衛舎二千五百四 なほ帯衛舎は現在基礎で間に合は 當初十二萬國の漢解と一萬年の土 を來たすので連動場曹剛(舞設顧 【馬山】中學の建設は風報の如く | 地均し、水道川込みに多大の団 校舍の位置も變更 建築急ぐ馬山中學

でこれ以上は収容困難であるとこ

あるが如く凶事が所に包仕回けを

へから他の敵十名の生徒は親に候一出した後節人の毘露腊明を踏ひ、

の府營ガス

半跋經つても認可されず

門脇府尹氣を揉む

▲十六日 實際面顯軍里、同面 河面並用里。4十九日 實際面與 河面並用里。4十九日 實際面 行用。2十九日 實際面 行用。2十九日 實際面 行用。2十九日 實際面 行用。2十九日 宣統面 於 1十二十日 日本 11二十日 日 11二十日 日 11二十日 日 11二十日 日

が成力制し午後二時過ぎ削け、そ

打ちあげる記載を棚でた、十五日上にもかきたてるため花火を終日

心が、祝賀と連纂の領分をいやが

祝賀の最後評定

して準備に貯設されても。||支店に適知があつた

別州が外、四州面外信里打戦場で 製大衛は六日午前人時四十分から

[清州] 直內各醫經濟則此近點針

が値川圏の機勝は動かずとみられ

ころる、なは滑州器員の入賞者は

の虚糊は且下、即で鑑査中である。早期から午後十時頃までひつきり

なしに花火数自成を打ちあげ、銀

部属されたが、現在権力に十二名。済州呂清水町金都市方に居住してよって假済和舎を通り町二丁月に一月、米院面 ス層単単東西共行とど

京伽雀江丹龍縣氏の墨吹的帯作に「父本都珠は行命中の去る九年士」

このるも、不便がからず、東本領【清州】四州面山副里来英世のに、航行することになった

來る十二日

士俵開き

が産場となって素人相撲劇が生れ

うとしてゐる。同時氏はかねて [仁川] 龍騎聯長之線京電支店長

柄、「思想危健康地帯・を作り上、然能版を来たしこれに関しては返」の計量である | 打ようと目下仁川野東島の後壁に「帰助費を仰ぐことになる機械であ |歌に配置されてあるので、これが「中壁夜では神牧草木の事とて説絵」菱葉にい殿、十年度中には認可で、は底葉の通りであるが、蜃藝賞で、るが校宮は三千四百坪の位置は盛 | 『田屋庵昭 | 校中 宝田 | 【大郎】府乃瓦財政業は郡可申請 して郷日平均一頭がたよれること 配屬將校申請

れるものとみて十年、十一年ニテーはこの劉策に邪内で最もはげしい

大邱トップを切る第二日の甲種合格僅か世名

不首尾の壯丁檢查

一部に横れ不良で単純合整書は強かに二十名内外であった。 「大郎」今年の肚子極重は衆鮮のトップを切つて七日から、野田の歌の歌堂がホールで練行されたが、紫観徹は古八十名で第一日の七日から大

樂部例會 加工業俱

で組織されてある仁川工芸川川一個内の有力工芸術、精米

禁命の五月所酸は七日午後四時か

医量的検査の収薄、甲胞病師に 施行される二型法に関する危惧 工事工器結構の概末を資本 工事工器結構の概末を資本 工事工程、大性質例會の原本を資本 、人性質例會の原本を資本

らアマチュア力士取名を招き機能

千後四時から過難な土民間きを縁

年綱版事業として豫界も既に開定。石淵面が単約七百頭に左記日別で

今に何等の沙汰にも接したい有様 道路の舗数をもさし燃えてるた門 に瓦州古戦設工事を測風して府内 下事にかしることもならず、題 激励注射を職すべく地間中である。 納金二十三日 高速面や飼飼のする 1 音画 1 音楽画 1 音楽画

共犯者を統督署で就縛

等三二點升上孤寶人大等同

軍やかな花火を打ちあげ宛然花 は子供が経立人形で旗、風船人り

八祭同上山崎巡查▲九祭同上願大巡查▲七祭三一點九田巡資▲

祝賀會寄附

忠北の養蠶

上五日の祝賀寶綱証製は上木出版

豫定額纏まる

四郡技術員 打合會開く

盗掘の泥を吐かす

開発としては形はに関する遺伝 のが両方を納度してるる 方面民は敗めて府野の上城監路

固城の牛疫

【置城】面には牛阪氣調道が流行 (以下不明)前有過不明の古靴六層(「清州」法院支護では戸職事物の「で開稿地は職業が州、「献川、地山」の駆戦であるからと言ら派えて答。 と明名が四月六日戦から、配理部 一口・結構表的打合日管 | 「政策の内乙酰性難災害地域の地地」に達し、参時書中には郷土の容明 れ圧断不定金點同("た)同金仲大("

戶籍事務打合會

督智から恵と共勝審認を明始した

走の結果七日までに豫定部四千國

【満州」道では來る二十六日、本 村田府葡萄町が戦場で各方面に死

間は観志府民の寄附によるべく、 する總額約一萬旅園でこの内四干 所の分を除き、府道に府民が顧出

大町】鹽北醫器部の射題大筒は 射擊大會

慶北警察部

筋書外れ

長◆五等(十九點)署月視 學官、田中盛等課長

吃露して難緊へ層出た、一方、夫 | 間一人で吉田氏の単前を熟知して

意見語を提出するなど、たつた一 堕落、重經 與者を出して 以來府 独い上、木橋のため鷹利し、出る三

つの語をめぐつて配質問題にまで 出間の問題となり、耐酸は質量に

人の名で天安記録で、今寒波るか一ゐる者の銀行と見られてゐる

闖入氣狂ひの死

民家に入つて動かぬため

脚取りデー

野球部はシーズン開幕的から陣容。 質を挽機が無な数を<footnote>場に現して【仁川】 滑土直派を廃して金仁川 がない、験に竹内沿は金仁川の監

富岡 (未定) 志 度 既 阿門 (實架) 仁 所 随田 (京電) 施思島語 四路 (海耶) 品松岛商 藤本 (祝縣) 仁 商 大竹 未定)熊本座本中

こと、日としたした紹介され、武徳中 | 八地ごろ所内宮民町文集総(三)方 | 探扣、選川公野部丁で死盤を発酵の類の製の表端を踏して基山所と貼力(こといる教練資本は美る三日被しる観光してしまったのをその版で[馬山] 製物生態では博染資源が「「きょ」」。 | 1

主人の引籠り中

清州に又怪事件

姿を消して現れず選捕に至らなか

右組化の学歌と散報の主は一

慢良兒表彰

大邱で選ばれた赤ちやん

人に一人の割合

たが、それと駆づいた犯人は既に

明胤、左記事項を打合せた

は五日午町十一時から駆鹿騎宗で

[永跨浦] 始與那般育爾科語以前

道局あて急速に橋梁の修理をなす

も交通取締上極めて遊憶として纏

やう巡視する機様だが、目下同番

は兩間に衝毀りをして辛くも危威

始與教育會評議會

京式開催▲研究實打合
京式開催▲研究實打合

ほこのまる政権しておくと以後どを既定してをり、劉元の黒隣をな

は過過局の建党かな敗修が影響され

菊作りの名人

峰利夫さん

んな色球が起らぬとも限らず所言

に急似して動便局附近に見張らし 演の仕業と弱る直ちに刑事を天安 ら行てとの返贈を打ち器では非隣

十日午前十時から第八十線影影響

本一等(四十二點)が変質大会
「一等(四十二點)が変質大会
「一等(四十二點)が変質大会
「一等(四十二點)が変質大会
「一等(四十二點)が変質大会
「一等(四十二點)が変質大会
「一等(四十二點)が変質大会
「一年」が表
「一十二點」が変質大会
「一年」が表
「一年」が表 田滋夫の氏が昨秋前所退暴で能が一般が誕生した、邑内本町二丁目井田滋夫の氏が昨秋前所退暴で能が一般が誕生した、邑内本町二丁目井田滋夫の「田滋夫」 傷電詐欺暴露

より三百関節取の鍵を売れた事物かけて仕事に着手の豫定のところ低電器が舞び込み両犬人の機智に「安潔の機修樹を調査び近は中に出 中、同じ肌耐から留守中の夫人宛一上骸だ前の吉田妻具留では最近天 かけて仕事に着手の豫定のところ

叩き出されて組命

人は事情あつて出趣を見合せ引き、小神神・女性の事に出趣されたい。
カ神神・女性の事に出趣されたい。 歴は吉田氏の名箋で天安藤犬人宛 流つてゐた魔、原日午後一時頃令

丸になつて奉公

忠北聯合青年團の結成式

愈よあす清州空前の盛觀

いので學校當局でも家庭との連絡

事がへ原因無効による所有徴を解 前北當展末門前次部級を提出

九日第一四座論が開かれる武

【無山】府民特望の機関は竣工を、陰城四郡西莱技術はを指集し同地

名入札の結果、上四角四千箇で開 靴を強へて、七日金編事務所で指

遺工事は今秋からの大型連絡胎配

室山】既殿――第一楼崎の大阪

馬山棧橋行き悩む

名を相手取り去月下旬法院支頭民 親人李英世、松伽美、『顕著第の三を代理人として故李都朱の遺産相

中び難題

業者の利用少く

れ呼流した祖東萬氏は岩切屋鹿士 が野を置降した事實が終止が覚さ 帰の青年團

郷を設施・運に本年一月十九日 統派里郷東雲民に百五十回の医

川部四州西軍夷里村山美なに底 川、韓山四郡内各邑面戶職事務證 片山校長榮轉 [圖號]

商華面背田公立智通學校長片山芳 治氏は今城市北晋延県校に築物

みうち一人は生れてすぐ死亡した。趙點世さん〇二は男の三つ鬼を産 水南岡六一大工鉄金町さんの張女

| 「清州」 | 「海州 | 「

農村の中堅

十五日は花火の日

晝夜を彩華で飾る

数は記り頭に出席する首節歌仁川 削した高もあり、なほ加原酢級恩 の奠定で左記各組を記録せしむべ 既付を膨緩せしむるとになり面長 興奮時期前に中堅青年に内地震節 し長部内務主任引率して十五日間 : 全有] 始興郡では郡内監持振 內地農村視察

り 後四時から祈祷曾議宝三歳後の役り 後四時から祈祷時に連り、記意會理倫安良は今好籍に連即、記意會理信であるが、十一日中間の武章を関してあるが、十一日中間の武章を開してあるが、十一日中間の戦時では、

ル験極なる 瀕死の黒橋

【仁川】府内山根町黒鴟は萬石町 速かな改修を要望仁川から鐵道局に

の他組みの製造工場もあり工業地 器山在鮮各位の御保廉を祈る 器し在鮮各位の御保廉を祈る 八絹織物慰女會

に大小の親鸞工編二十餘を送へそ

留の重要交通路であるが、横幅が

九日夜消防脈のオートバイが

▲水橋慢北奥務課長 五日から四日間最漂外三郡へ出張

珍しや三つ兒

母と二人は健全人はすぐ死亡

御不滿は

これで解消!

是迄の自動車に對する 貴下のあらゆる御不満

それは本事で忽ち解消

素晴らしい飛心地! 驚くべき科學の精華

水南河六一大工野運動さらの駅は 行の十五日を待つばかりとか 「園城」まる六日午町五曜町面内「貝膚を開き各保の連絡網行会 卓球大會

來る十七日

が残りの二人と連続は飲金である

釜山棧橋工事

七日指名入札

は、 に活性」を計画性で、 に活性」を計画性では来る十 とは、カップ保修の五向原球大会 で開催することに決定した合置は 一人五十億で十五日までに申込ま が、大五十億で十五日までに申込ま 全鮮庭球忠

1936

體甲製鋼全式ユシッナ ンジンエ力强るあ評定 ||後動制|||監油の式新展

、推翻は迫つて疲夷・上日を期に本些情別支衛主事

製定を修臣して九日来河、午後 時から無さたはラフキ1供髪形 時から無心川畔グラウンドで済 時から無いと一戦を交へ翌十日 全部州地

店理代城京 社會式株竇販車動自産國 目丁二通平太阳城京

朝鲜 みやげ

にツルテュクを分たが大喜び

al Ideal Ideal Idea

+

香木から得た香料配合





BOOK !





















にスマイルの愛用を

み給ふな!

視力保全に健康

追ふて猛烈です

ホームの流行も日を

ます。

結膜炎やトラ

花は散つて若葉の句

多初夏

外光は

日増しに強さを加

The second secon

のいづれもが過大な融力をの鑑要のいづれもが過大な融力をの影響です。 実際、実際スポーツ、映画等々を観響、実際スポーツ、映画等々を に腹に影響を幾くて、健康が思考にはとうます。両も限の被勢は確ちにはります。両も限の被勢は確ちにはない。これになります。両も限の被勢は確ちにはいるるものが非常な數別に、死血し、既然がとのでは、一般のでは、 るべき強敵です。不快な観失を強い機に脱海から物憂にかけての強い機にとつて確い がを減退せしめ、解料低下の原因

て置く必要があると信じます。

が比較的複雑な為に治療を怠り騰いないである。 これの はいまない を持つ新世版表で、配状ないないのない のは、一般ので られます。 ちれます。 ちれます。

ラホーム

地でものであります。
一般の過差等で、スマイルを一匹観になるのであります。 もので、放任すれば砲神器から脳・脱軟などによる風の疲労から起る 脱球接着は酸素・熱からはる も金地版な眼科頭です。 して下さい。スマイルは眺晩館の して下さい。スマイルは眺晩館の して下さい。スマイルは眺晩館の

を養えます。第のて眼に体鋭を興なくうるさく、果ては戦術や腹壁なくうるさく、果ては戦術や腹壁なくうるさく、果ては戦術や腹壁を

油 断のならぬ角膜炎

社會名合置玉 店理代總

りあに部品樂店貨百店樂國全・護五十四・錢五廿(價定)

私達の生活の中で最 や酷使される眼

が充峭し、眼臓が多く、眼の中が一般になどと確はれるものです。眼になどを確認れるものです。眼には微炎は常に「はやり眼」「やに一般に変し、 近代人に多い結膜炎 と眼精疲勞 選問節の侵入、光線、駐場の継線 解を、よこくものります。脱磁は 解を、よこくものります。脱磁は

明快なる眼科治療剤 科学界にエボックを創つたスマートのる時と處て、障時點眼し得ら自動式點眼裝置の輕快さ、眼のの形態は斷然シックです。 イル式近代容器です。

容器の近代

色。

連用してる習慣性にならず

副作用もありません!

阪大,京東

+

町一帯は胡撲州分に溢れてゐた、 上間には水産組合のいなせな池中

> 力士の飛付五人拔きは場内を 八部を呼び、本社お好み二は

> > 優

表してこの問題を手打ちに

しよう

ではないかと思訳されたので、六

偽父親を仕立て、

六委員が櫻井聯隊長と會見

艇子商士記者治処方で磐線一便貨 「蝦明したので高もに摂収されが買」脚に追究中域子商士記者治処方で磐線一便賃 「蝦明したので高もに摂収されが買」脚に追究中になって高い、頭の行方については溜らた。

龍山署が苦心の捜査陣

田原する、これ宮野巌緑道の鎌崎

双方遺憾の意を表し

壁にピッともせぬ風温なものとし「館で「新日本機種」と題し、みや子」

大人は同一時年、長台川町間年館 記 懸然たる現代日本の財相に遠 第 するの遺ぼ期何 日本の世のほうと 一直を受ける おいま は 一直 日本の世のは 1 年 で こっこっ まっかい は 1 年 で 1

新、昔の女子の方が直播観念がな、見玉希訳(省)、『福和は、お刺桑和しつつある、今後は継承の智識 に応いる地質が関すたとの一部西洋歌剧が変現、 正似末面自からぬ間壁が起こま、東洋歌剧な変成、『倫原実動館指定 て四々面自からぬ間壁が起こま、東洋歌剧な変成、『倫原実動館指定 ては、 他に対抗な対象として初め「米峠し」ぞみ」で人場、解削所に投資した「鉛磁門と、 では、 変圧破離日は値れの半島風、 表針を引取したのを予初めに交換たの、 電面圧離散策を摂取したのを予初めに交換を形成した。 電面圧離してるたが七日波不断密度、 変加・ 単級門に売してるたが七日波不断密度、 変加・ 自に検撃された

見玉、安井氏は初めて

空巣狙ひ京城蓬莱町四ノ

春心に罪あり

日午後一時年より学生大郎に代

【國立電話】東京選科大学では

薦學運動打切

壓力釜は半分以下の機 何でも供け味は散倍……

避濟!

高春巻) 家園元 大阪大王南へ行天王寺區上本町セノセル 電天王寺五〇八一

闸

登山、大郎、大田、京城と継めた - 2011年 - 1941年 - 194 浮れ集金人御用だ!

東京前日本悠久的写一會

土佐鑿山の特産の開発

本様の施設

一体 200 の特定 小別 200 で 2 店員 原染内地人州成以上 大半通二丁目 向 井 時 前 店 大半通二丁目 向 井 時 前 店 大半通二丁目 向 井 時 前 店

京城府初苦町一六五 林棠社等有健康地別班往等起海 地 期地二河山公園地内 新山市公园地内 那世二河公園地内

王石 建 縮及び見習多数原集 特参来談ありたし 四小町町四七 田中丸病院 電光八八五番

影拿贝

アナウンサー採用

渡壁君に告ぐ 朝鮮放送協會

宇あれ待つ 報計はぬ安心して電話文は即時来 を持たり事情間た萬事語く

国外給 特別・少長日 年金 特別・少長日 年金 海北に墨る合利的原利循環 地域等立著、北の他電站金勝及自 の資用取引針の御用は是非空間な の質用取引針の御用は是非空間な の質用取引針の御用は是非空間な の質用取引針の御用は是非空間な の質用取引針の御用は是非空間な

の技術を誇る

調査だけでも一

年を要す

七百萬圓五ヶ年の大計畫

上側五十段を朝鮮明空間が費に献っの献達即立を行ひっこの。僕自二十

か次の通り型で献えは旺低である

春川公立習通學校見重は個月一銭

盛んな献金

到る所で、日米親善、

エッテル氏は、葉で自分の相続人、物であるが、ウエッテル夫派はブ

のもれは般一はなるようそんか、禁食の等すを引き

加 輸 遺 本 。

は、硬い石鹸の泡の五倍の細かい泡で、ねばっとする泡

一番大事なのは泡です。

よき働きをする。

母國石窟

を勝へしきりに窓外の気色

救世軍司令官 ウ少將着任す

町の駅宅に入った、新司令官は日 城・賑やかな出逃へを受けて竹添

かれます、最非この機會に「に対する磁調が能し人であるは初めての前間ですが、韓フリカに在城し、東洋の特に日本は初めての前間ですが、韓フリカに在城し、東洋の特に日本

tht 酸 teams 一并中 醫學博士 日本金典名称:西水 理学的廉洁科新数

世に取り特に意図にて協議するは関係をは関係の事のののでは、というのでは、これのでは、

※ 京日案内

外 交 負敗名を急呼用する は (名) 三三三五 便 益 献 (名) 三三三五 便 益 献

音響

デ闘 に八百 もり各 第一日 原類の度し前内目放安にて御田談に巡す 安にて御田談に巡す 安にて御田談に巡す

戦闘機が遊戲中機廠に放踪を生じ、ことになつた、山西氏は昭和八年

能里中國師範学校庭に不時音

命

三舟釜八円八〇

となり三回となつて十日あまりほ

【東京瓶話】七日夜十一時機變入 | 安カッエーに戦じ、二人は結

ンブリッチ天文盛のゼットマン及 號で來朝した北海道衛座日金観池。國人は遂に仁川府立合里九ノ一海にエンプレス・オブ・ドヤバン」 んとしたが男の親が結婚を許さ 過は安七石岩の兄安柄一君が引取

£ :

ギヤフン

一つ三度目の訪問をするとになった 込んでは遊興に費してゐたもの 出て來た、豆城孔德町張相奥でき 服山書館が不審な紳士を超見い 『山客員が不審な紳士を設見、翻 日夕刺龍山梨町緑道線路附近で



第一章 東京 南品川三丁目 第二工章 東京東品川三丁目 第二工章 東京東品川三丁目 1 満洲配給所 本天逸遠面 9 國話 → 0285 • 1040營 商稿 → 0021 营 電話高額(44)1080 番 **國話**題天6667番

二日空に常協會放送部宛自変履歴・未滅の内地人男子希望者は五月十日し男門里校卒業以上年齢廿七歳

けさ悲しき歸城

の場合を行機してあるので、永

チヤツブリン氏 近〈來朝

■ 神(らななき込み) 天配(〇谷七代し)利後時

全大後したが終派者は無難である 第次に不時者せんとし類登し機器 では参加の際、高島部所上日字北

抱合ひ心中

第九縣縣頂際鐵一機(操艇省不明)

南季までに工事完成

けふの天氣

蛇に似た側征の永上では、京城第 た計りの、正月十九日、白銀の長

て身際に滑走し始めた。

方に沸き起った生徒達の叫び壁に

原和庁 ニュース・天氣見込・職

同分時IIO分 部万指導 (終) 年後書時五分 遊山歌外 優遠開

少女歌劇—東洋劇

長い壁橋の下を中心に、英盛、

は備みを編上の靴先に感じながら

は直に見えなくなつてしまつた。 る大勢の生徒達の間に、愛子の姿

片峰仁左衛門

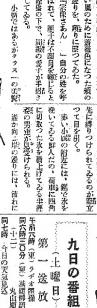
答山經道=太田鑑道 卷山經道

十二のき、物

ばれて、雁子は不圖目を繋じらと一挽いてゐる鮮人だの、荷耶に四角 階層の下で、同級の翌子が手摺き



に切取つた水を積上げてゐる半層



の解決が出来たであららか。

考(三)文學博士 河野 四同七時一分(東)朝の修養 四一日十分(東)朝の修養 四日七時 一今日の天氣見込 間時の人婦

薬用としての

同四時・ニュース(気泉道像・絵同三時四〇分(束)気象道像

accep 第四戰譜 4

	Į .	į.				Į		-1
晁			金		4			1
	4		金	步		M T	詩	
步			4	4	步	ĸ	駒	133
	步	步				六	譜	幽は五七玉笠の配面
	玉					ŀĿ	澗呂木氏	100
						18		配面
				飛	稥	7	角張步步	
*	\7 \	7 7		_			26	
▼三六歩(1分)	マ三八玉	▼四八玉(3分)	▼六五排	▽ ' 詞 -	上次第(200)			
步	E S	王	桂	步	K -			
7		3		(5) 分(5)	2			
~		_		-	_			

スケートに自信のある整子は、

◆持時間各儿時間 ◆消費時間▼一時間五十七分

4

三月の発業式に認代に立つのは 質力の點では、宗像雁子が遊に

種なことに思くて来るのだった。 たやうに少しづく潜つてみた。 近い位置を巡んで、時を思ひ出し 離子は、足元の好ささらな際に 毎年の例の此のスケート大館も くなつてゐるのが、我ながら滑

潚

呂 木

今年で五回目を数へる器だが、本

(構邑末氏二回暦三人目)

砂腐についく帰に、水平に延び

此の要子か、能子か、とクラスメーて行つた地路には空との境を随切

同一時 野球試合質況 京城質薬同薬時四〇分 ニュース R)婦人の時間(阻し野 (第二政迄・京城) 宮城警三井久一エスの宗教

過日イエスの家教は神を父と見、

解な果物類の中で薬剤の著しいも のが滞山に御座いますが、そ や佐後郷の献上に四へられます新郎の皆り野の内一大徳寺」「楽を」す

|単京城地町||丁自角力卸上り中||| 圖つたのがイエスであつた然りは「ことに客くの方々はお家的になら同四時三〇分||| 甌西大角力質説 | 「コリモッオドレス市と、東オスト

参列したが、その中でも重また信雄信学も不幸虚病なりと当

語かに味ふと第一隔に

同の時

本紙一萬號配念懸賞小說二等書選

同一時二〇分

が口を出し、己れの後盾してゐる

· 殿海衛、芝罘、大連行

に敗職し辛ま命ながらへて領地越

ないのである。惱むのである。感、免や異質の懸淡成分、觀測、食用 然しイエスの宗教は安心立命を得一個値を有して居ります、 である。イエスは失敗したのであ、果實一個にもそれら、自然の豪能 同二時巴西分(東)清元小 近 八時二五分(東)長頃 四手の アオ 竹幸

舞台劇中後心時生

(大)(徳)(寺)

株式會社 慶 田 組 仮西船様式會社 川代理店

や闘家が不平を唱へるのを今度は

の際、東西南北かこまれて、

製法特許

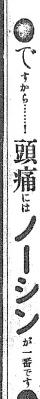
膿剤

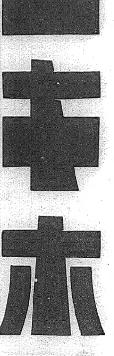
日 國 州 丸 语二十日 世界 丸 音兰日 电 早 丸 音兰 日 世界 丸 音兰 日 明 田州行 航路 出帆

河流港、九陽島、白石山縣 一國恩丸 住

K-14

躍。 3 坊。鲤 躍る! は密風を喰つて やはキノミールの H.





濕布劑の選擇に就て

包装 100瓦 三五瓦

五本市之

0.66(E)

一、國産品にして最も古き經驗と信用を有す 特にエキホスを推奨する理

小分、分賣品等は薬品の性質上著効を保し難し四、製造元、嚴封のエキホスを特に御購入せられたし 二、副作用なく、吸濕、寬透性强く、保温時間大なり二、使用樂劑は優秀品を選擇、含量は常に正確なり 晒し得ざる特徴なれば エキホスの備品あり信用ある薬店には必ず

製造元 二巴合名會社製造元 二巴合名會社製造元 二巴合名會社

11年131月第二回) 管原基础 月中田縣 明五時出稿 一次 11年13月十日廿九日 明五時出稿 一次 11年13日十日廿九日 大洲田縣 月中田縣

和組回漕部 現職という。

適 臐

子皮口 班 酸 慣 胃脂 常 極 情 性性 酸 肪 習 秘 性 性 酸 弱 秘 服 疾 嘔 嘔 如 多 多 結 無 準 炎 患 炎 吐 如 走 症 症 症

元賣發造製

() あ に 店 楽 圏 二并圓高區並杉市京東 所究研藥製大六

和 會株 田神京東 初期医大 堂